

トピック まなづるの海

まなづるの海を楽しみ、学ぶ—海の学校



磯で生物さがしを楽しむまなづるの小学校のこどもたち。[大ヶ窪にて]

町立遠藤貝類博物館では、主に小中学校を対象に、磯の生物観察等を楽しむ体験プログラム「海の学校」を実施しています。博物館学芸員やディスカバーブルースタッフが、楽しく安全に海を楽しんでもらえるように指導しています。海の学校は2006年の開始から今年で13年目。真鶴の磯には今年も町内外から多くのこどもたちが訪れ、歓声をあげています。

6月はまなづる小学校の海の学校がありました。まなづる小では学年ごとに異なる内容に取り組んでいます。1年生は自分の力で生物を見つけることを目標にし、2年生は磯の生物の飼育と観察に挑戦しました。4年生は磯の生物調査で80種もの生物を見つけました。また、6年生ではプランクトン観察を通じて、海と人間の関わりを学びました。この海での学びの体験が、こどもたちの成長の大きな糧になれたらうれしく思います。

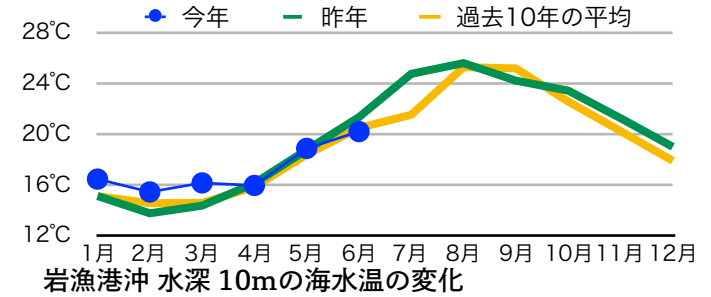


学芸員の解説を集中して聞いています。

真鶴の海況

水温は平年並み。昨年よりは少し寒い海。

今年は冬～春にかけて例年よりやや高い水温が続いていましたが、6月は20.15℃と平年並みとなりました。温かった昨年と比べると低い値です。この低めの水温が影響したのか、例年は春までしか見られないダンゴウオが、今年は6月にも確認されていました。<データ提供：横浜国立大学>



夏休み直前特集！

海にでかけるその前に。

毎月、真鶴の漁獲情報をお届けしていますが、夏前のこの時期は水揚げ量が少なく、漁協の直売所もお休みが続いています。そこで今回は、海に行く機会が増える夏に向けて、海遊びで気をつけるべきことをご紹介します。

◆天気・海況

台風の前後は天気が良くても波が高くなり危険です。また、避難する場所がない海岸では雷に要注意です。

◆海に入る際の安全

シュノーケルは事前にお風呂等で練習し、海に入るときは必ずライフジャケットを着用しましょう。

◆危険な生物

カツオノエボシやガンガゼなどはさわると危険です。ウツボやヒョウモンダコなどは、噛まれないように気をつけましょう。

◆海でのルール

・漁業権の対象物（サザエやアワビ、トコブシ、タコ、ワカメ等）の採取は違法です。

・水中銃やモリを使用することや、水中メガネを使いながらヤスやインソガネを使用することは神奈川県条例で禁止されています(詳しくは県のホームページをご参考ください)。

・三ツ石海岸やお林での火気の使用、琴ヶ浜遊歩道でのバーベキューは禁止されています。

・楽しく遊んだあとはゴミを必ず持ち帰りましょう。



危険な生物、ヒョウモンダコ。ガンガゼやカツオノエボシ、ウツボ、ゴンズイなども要注意！



魚を突く「ヤス」(水産庁HPより) 水中メガネをしながら使うと神奈川県条例違反になります。

アオリイカ、ベイベーもうすぐ。

高級食材として知られるアオリイカ。この時期は海中でダイバーたちも賑わっています。5月のはじめ、産卵期が近づいたアオリイカは3~4匹の小さな群れを作り、岸近くを偵察に訪れます。岩ダイビングセンターでは、それを確認すると、山からマキの木を切り出して海中に沈め、イカの産卵床にします。やがてペアのイカが現れ、メスはそこに卵を産み付けます。産卵には数十匹が集まることもあり、ダイバーにとっては良い被写体になっています。アオリイカの卵は、白く細長い袋の中に6~8個入っており、まるで莢(さや)に入った豆のようです。今年は水温が低かったため産卵期も遅いようですが、そろそろ卵から稚イカが出てくる日も近いとのこと。1cmほどのキュートなベイベーは、港の海面でも見つけることができます。



産卵に来たアオリイカ(上)と卵(下)

産卵に来たアオリイカ(上)と卵(下)

2019年7月の町立遠藤貝類博物館のイベント

15日(月・祝) 海のミュージアム「磯の生物観察会/海の自然実感教室」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料】

申し込み：町立遠藤貝類博物館HP、ディスカバーブルー HP
16日(火) 貝博サポーターズ「棘皮動物の魅力と不思議に迫る」

講師：小淵正美 学芸員 町立遠藤貝類博物館【無料、予約不要】

21日(日) 海のミュージアム「磯の生物観察会」
三ツ石海岸・町立遠藤貝類博物館【有料】

申し込み：町立遠藤貝類博物館HP、ディスカバーブルー HP

まなづる 海の月報は、町立遠藤貝類博物館 HPからダウンロードができます。プリントしていただいての掲示・配布歓迎です。